



## 会員からのメッセージ

●早稲田を卒業後いったん仕事に就いてから、アメリカに留学しました。それから今年で13年目になります。現在は日系会社に勤務し、自動車向けの樹脂、化学品を販売しています。日本での職歴もあったため、当初は日本とアメリカの商習慣、雇用、職場の雰囲気の違いを感じ、戸惑いました。

しかし、違いを見るのは楽しいものです。ミシガンのような内陸では、ネクタイを着けるようなフォーマル



冬のミシガン

な装いとも無縁ですし、全体的にリラックスした雰囲気です。日本のような律義な会議形式も稀で、顧客関係や上司部下関係といった緊張感が漂うことがあまりないといえます。

日本との違いで顕著なのは、アメリカでは仕事の共有という概念が希薄だといえることです。基本的に個人の役割が明確にされた上で雇用契約を結ぶので、それ以上の仕事を要求される場合、明確に断ることが一般的です。アメリカで働く日本人は赴任した当初この点に戸惑いますが、だんだんと慣れていくことになります。アメリカ人が5時にしっかり退社する一方で、日本人は夜半まで働くという光景が、日系企業では至極当たり前です。

仕事で不満やストレスを感じることはありますが、「ミシガンライフ」の楽しみはたくさん見つけられます。格段に大きな家や庭、「安近短」でも贅沢さを味わえるミシガンゴルフ、離れた土地だからこそ親密になれる日本人とのバーベキューやパーティー——ミシガンをエンジョイしている毎日です。

宮本 竜太 (幹事長、1995年商学)

## ミシガン稲門会の人びと

People

●アメリカ中西部に位置するミシガン州は、緯度は北海道とほぼ同じであり内陸に位置するため、冬にはマイナス20℃を下回る気温になるような寒波に見舞われることもあります。さらには、最高気温が0℃に達しない日も少なくありません。

冬は屋内で生活することになりますが、夏は湿度が落ち着いているので過ごしやすく大変快適です。夜10時くらいまで明るい夏至のころには、帰宅後にゴルフやバーベキューを楽しむことも十分できます。淡水の湖に囲まれている環境のため、森林の緑は豊かですし、庭はスプリンクラーで散水しているので芝生が美しく、すばらしい環境です。

産業面では、GM、クライスラー、フォードのビッグ3に代表される自動車産業の中心として繁栄してきたこともあり、近年はこれら地元自動車メーカーの不振を背景として、失業率が高い状態で推移しています。しかし、2010年からはビッグ3各社とも業績は回復してきています。

デトロイト近郊のアナーバーには、ドミノ・ピザの本社やミシガン大学がある



私自身は2006年からデトロイトの近郊の都市であるアナーバー (Ann Arbor) に赴任しております。自動車に関連する試験装置のビジネスに携わっていますが、ここ数年はハイブリッド関連の技術開発に対し、積極的に投資が進んでいるという流れを肌で感じています。

ミシガン稲門会は異業種の方とも交流をもつことができる大変貴重な機会となっています。日本から遠く離れたこの地でも、稲門会のありがたみを感じています。

古川 哲 (副幹事、1996年理工、98年工研修、2003年工研博)

## ミシガン稲門会について

About

ミシガン稲門会は会員約30名で、主に自動車産業に携わっている方が中心となっています。忘年会やゴルフ等、数回の会合の機会をもって親交を深めています。

そのなかでも最も伝統ある行事が、ミシガンゴルフ早慶戦です。ミシガン三田会の方々と毎年開催している恒例のゴルフ大会で、チーム戦で勝負を行います。



ミシガンゴルフ早慶戦

す。今のところ実力では三田会に分があるのが残念ですが、会員一同、この早慶戦を楽しみにしています。

## ミシガンの魅力

Charm

五大湖の4湖に囲まれたミシガン州。五大湖だけでなく、大小数多くの湖が点在しているのも特徴で、州の面積のうち湖などの水域は40%以上に達します。州の面積は日本のほぼ3分の2に相当しますので、湖だけで北海道を上回るようになります。どこまでも見渡せる平原もまた、ミシガン州らしい景色の一つです。州名の「ミシガン」は、インディアンの言葉で「大きな湖」を意味するといわれています。

日本人の大半はミシガン州最大の都市、デトロイトの郊外に住んでおり、その数はおおよそ1万人。デトロイト日本商工会 (法人およそ275社) や日本人補習授業校もあり、さまざまなイベント

を通じて日本人同士、あるいは現地の方々と間で交流が行われています。自動車産業発祥の地だけあり、在留邦人の多くは自動車を中心とした製造業に携わっています。

豊かな自然が楽しめることは、ミシガンでの暮らしの大きな魅力です。とくに、夏場はサマータイムが実施されているおかげで夜の10時ごろまで明るいので、アウトドアでのレジャーにはうってつけです。例えば、平日の仕事帰りにゴルフを楽しんだりすることも可能です。

広々とした住宅や庭のスペースを得られることもまた、生活をおおいに豊かにしてくれています。夏はバーベキュー、冬は親しい方を集めてパーティーを開くなど、恵まれた住環境を生かして楽しむのが習慣です。

アメリカはいま、その市場規模と安定した日本との国家間関係から、重要性を再認識されつつあります。われわれミシガン稲門会も卒業生同士の交流を深めながら、産業に携わる仲間として、日系企業の発展、ひいてはミシガン州が発展する助力になればと考えています。



まるで海のような五大湖の風景